

2026 年度

大学院 商学研究科〔博士課程(前期)〕

第Ⅱ期 入学試験問題

論 文

◇試験時間……………10:00～11:00

◇解答時間……………60分

◇解答はすべて別紙の解答用紙に記入すること。

◇問題は全部で4ページある。試験開始後，乱丁・落丁がないか確認すること。

志願時に選択した主専攻の系列の問題を解答すること。

「マーケティング系列」は1ページ，「経営系列」は2ページ，「会計系列」は3ページ，「租税法系列」は4ページに問題があります。

マーケティング系列

問. 以下の各設問について答えなさい。

- 設問1 企業の競争地位によって異なる市場目標と、それぞれの目標を実現するための具体的な戦略について述べなさい。
- 設問2 オピニオンリーダーおよび準拠集団に関して、それぞれの概念を説明したうえで、消費者の購買行動に及ぼす影響について説明しなさい。

経営系列

問. 以下の各設問について答えなさい。

設問1 友好的買収と敵対的買収について説明しなさい。

設問2 コンプライアンスとガバナンスとは何か、それぞれについて説明しなさい。

会計系列

- 問. 次の A と B の問題から 1 つを選択し、解答しなさい。なお、解答にあたっては、選択した問題の符号 (A か B) を、冒頭に明記すること。
- A. 日本における企業会計原則は、次の 7 つの一般原則 (真実性の原則、正規の簿記の原則、資本利益区分の原則、明瞭性の原則、継続性の原則、保守主義の原則および単一性の原則) が掲げられている。これら 7 つの一般原則について、それぞれ具体的に説明しなさい。
- B. 原価計算の目的を、1962 年(昭和 37 年)に大蔵省企業会計審議会が中間報告として公表した原価計算基準に則して、説明しなさい。

租税法系列

- 問. わが国の税収の令和 6 年度予算と令和 7 年度予算を比較すると、所得税（17.9 兆円から 22.6 兆円）、法人税（17.0 兆円から 19.2 兆円）、消費税（23.8 兆円から 24.9 兆円）、相続税（3.3 兆円から 3.4 兆円）と、それぞれ増加している。タックスミックス（税金組み合わせ）の観点から、どのような割合が好ましいのか、あなたの意見を述べなさい。